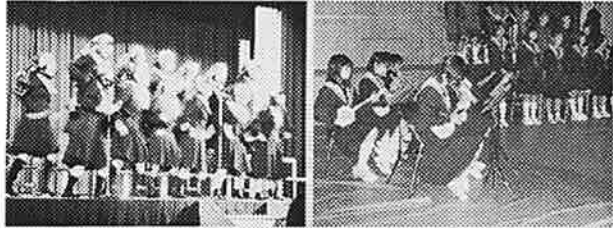
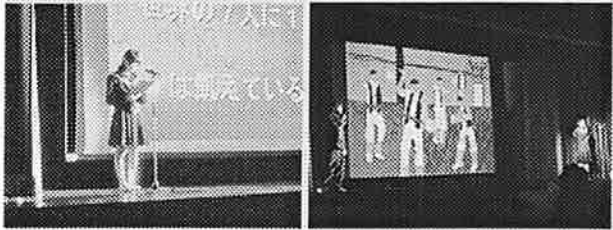


町会の回覧板にもそのお知らせが入っていた上町中学校のオープンスクールが今秋10月24日



27日の4日間行われました。通常の授業が観られるのはもちろん、プロによる和太鼓コン



上町中学校オープンスクール

子どもたちのメッセージに刺激を受けて

からほり新聞

第11号
(2006.12.10)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ゴミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

からほり界隈「ゴミ拾い」

前号で呼び掛けたゴミ拾い活動には10名の方が集まり、8月28日に最初の活動(谷町筋の6～7丁目間)を行いました。その後これまで2回実施しました。

次回は12月15日(金)、午後2時から3時に行います。

集合場所(葉業年金会館まえ)に直接お越しください。

サート、作品展や子どもたちによる文化活動発表会など盛り沢山の山な内容でした。修学旅行で訪れた沖縄についての学習発表で子どもたちが最後に言ったメッセージは、日々あたたかさと過ごしている身に改めて平和について考える素晴らしい機会を与えてくれました。「違いを認めることが平和への第一歩。私たちの訪れた沖縄、そして大阪、世界、同じ空の下」来年もこのオープンスクールは予定されているとのことですので、お友達を誘って中学校へ行ってみませんか。もちろんお一人で行かれても大丈夫。みなさん歓迎していただけます。一歩学校に入るとなぜだか甘く、切ない(!?)中学生時代の記憶がよみがえってきてとても懐かしく、また新鮮な気持ちになれますよ。

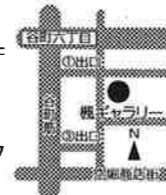


タバコの吸殻が目につきました。また、植え込みの中にもゴミが一杯ありました。

からほり伝言板

かみなり亭寄席
奇数月の第2土曜日午後6時30分より。会場:葉業年金会館。出演:笑福亭一門ほか。
問い合わせ:06-6768-3549

楓ギャラリー
▶12/5～12/13寺内加奈展(平面=アクリル・水彩)
※12/14～18は臨時休
▶12/19～24城野秀紀展(平面=アクリル)
※12/25～1/29まで冬期休廊
▶1/30～芳賀信幸展一藍と絞りの海一
▶お問い合わせ☎6761-0388
▶ホームページでは展示内容がご覧になれます。
www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/



年末・年始のご用意はからほり商店街で

高齢者外出介助の会 News

お年よりの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 【からほりさろん】
- 懐かしい映画の会(毎月第2土曜日午後2時から)
 - 食事会(毎月第3木曜日12時から)一人暮らしや食事作りが少し億劫になった皆様の参加お待ちしています。参加費400円(材料代300円、光熱水費100円)
 - 絵手紙(毎月第4水曜日午後1時30分から)
 - 「クリスマスを楽しみましょう」12月16日(土)高齢者外出介助の会の事務所にいろいろなイベントをします。(事前にお申し込みください)
☆午前11時～キャンドル作り(500円) ☆12時～お昼を一緒に(サンドイッチとクッキー500円) ☆午後1時～落語(無料) ☆1時40分～ヒビキさんと歌おう(無料) ☆2時50分から手品と手品教室(無料) ☆3時40分～マリンバ演奏(無料)。☆午後7時～交流会(別途会費)

特定非営利活動法人 高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②在宅支援(家の修理、家具の移動)
- ③入院支援(入退院時同行、洗濯、買い物など)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、絵手紙くらぶなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。
大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
(おとうぶ屋さんのおとなり)
TEL&FAX 06-6764-4002
月・金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www.9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってください。また、「新聞置いてあげてもいいよ」と「からほり新聞」に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在45カ所設置)

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。
指導:北口 桂

不動産登記全般/売買、贈与、相続登記など
会社の登記全般/成年後見、遺言書作成相談

司法書士 干場悦子(ほしば・えつこ)

中央区谷町6丁目6番7号 第5松屋ビル220号室
干場・櫻井合同司法書士事務所

TEL.06(6764)0889 お気軽にお問い合わせ下さい。

もしもの時自分の命を守れますか？

近頃しきりに「上町断層直下型地震」の危険性が言われ、大阪府防災対策検討委員会が10月末に被害想定見直しを発表し、大きく報道されたので読まれた方も多いと思います。

この想定では最悪の場合死者約1万3千人、建物の全壊約36万余、経済被害20兆円との予想です。国の地震調査委員会では上町断層の30年以内地震の発生率を最大3%と見積もっており、これは「高い」部類に分類されています。

「HOPEゾーン事業」も防災について取り組みを始め、新しく「空堀路地まちづくり会議」を設置、住民の生の声を聞きながらの路地防災点検を行いました。戦前の長屋に住む不安や問題点、高齢化した近隣の助け合いなどが浮彫りに。その成果を基に町の将来も見据えたワークショップも予定され、参加呼び掛けが行われています。



路地の住民にとつて覚悟しておかなければならないことは「地震が起きた時、とつさに外に逃げられない」ということです。瓦が落ちてくるし、狭い路地は何か倒れて塞いでしまう確率が大きく、無事に通りまで逃げられるとは考え難いからです。自宅の中で「自分の命をどう守るか」考えておくことが大切です。いざという時に逃げ込める場所を作っておく、もし、閉じ込められても三日生延びれば

(山名 勝)

地域でも防災の取組みがスタート

空堀地区は先の阪神淡路大震災で大被害を被った長田地区と同じ木造家屋の密集地帯で、地域の住人が同じ危険にさらされているのは、言われるまでもなく皆が日頃感じていることです。地域の自治会ではいざという時に備えて、住民名簿や要支援者の調査を行った所もあります。また、一昨年から活動してい

る「HOPEゾーン事業」も防災について取り組みを始め、新しく「空堀路地まちづくり会議」を設置、住民の生の声を聞きながらの路地防災点検を行いました。戦前の長屋に住む不安や問題点、高齢化した近隣の助け合いなどが浮彫りに。その成果を基に町の将来も見据えたワークショップも予定され、参加呼び掛けが行われています。

●空堀路地まちづくり会議
 [参加申込先] ☎06-6944-1173
 大阪地域振興調査会 (山本・柴田)

●空堀路地まちづくりワークショップ
 「路地から考える空堀の未来像～
 防災・まちなみの視点から」
 日時：12月10日(日) 午後2時～4時30分
 会場：関電上町変電所1階会議室
 (上本町1交差点)



ケラ子の介助日記 足湯でぽかぽか

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

この前の連休に大阪市内を巡り足湯を見つけた。冷え性、神経痛、疲労回復などと効能の書かれたプレートがベンチに貼りついています。私も足をつけました。そこに、常連らしい方が来られ「家内が3ヶ月、朝、昼、晩と通ってリュウマチが良くなった。」

さるんに来られる皆さんに知らせたくて、足湯の朗報を話しました。数人の方はすぐ行かれ、体調が良くなったと知らせてくださいる方もありました。食事会に私も仲間に入れてくださいと89歳の婦人がさるんを訪ねて来られました。よもやま話で「血の循環が悪いので」。この人こそ足湯が良いかもしれないと思

誘いました。さっそく話がまとまり、数日後自転車でご一緒しました。道中追走していると不安でしたが、無事に着きました。足湯に二人並んで40分ほどつかつていると、「からだか暖かくなった。手もこんなに」と喜んで暖かくなった手を私の手におかれまして。お連れして良かった。数日後、「これ足湯に行くとき使おう」とキルティングの座布団を事務所に見せにいられました。気に入っていただいで、それに座布団まで用意され意気込みを思い紹介してよかつたと思つたことでした。

☆所在地は本町橋2・31
 シティプラザ大阪の横堀
 側外(商工会議所の裏側)



車椅子から眺めれば

拡大教科書って知っていますか？ 目の障害で普通の教科書では読めない子どもたちのため、文字や図などを拡大して特別に作り直した教科書のことです。全てボランティアの手作りで、必要とするのは国内の小中学で3、4千人とも言われていますが、皆に渡せるほど作れていないのが現状です。

街の車いすおじさんから④
 高齢や障害のために車椅子生活になることは誰にでも起こるかも...そんなことになって気が付いたり考えたことを連載で。

かなりの冊数になってしまつたのです。私達のグループでは今学期47人分で約1100冊も作りました。費用は保護者の負担でしたが、義務教育なのにおかしいと、制作実費が最近やっと文科省から給付されるようになりました。障害のある子どもたちは様々な社会的ハンディも負っています。健常者と同じように教育を受けられないと格差は拡大するばかりで、もっと多くの手助けが必要です。ボランティアに参加しませんか。(次号につづく)。

単純に拡大コピーするのではなく、元の教科書をパソコンに取込み、大きな文字で編集して作り直すので、すごく手間が掛かります。元の一頁が数頁になるので冊数も増え、全教科では一人分が

高齢者の方々が外出されるとき
 外出介助ボランティア求めています。

通院、お買い物、お墓参り...などなど。

詳しくは当会事務所までお願いします。

高齢者外出介助の会 ☎06-6764-4002

六波羅 眞建築 研究室 再生+価値
 建築企画・設計・監理・内装

六波羅眞建築研究室一般建築士事務所
 大阪府知事登録(二)第12933号
 〒542-0012 大阪市中央区谷町6-17-43「線」内
 TEL:06-6767-1906/FAX:06-6767-1904
 E-mail:Rmasa@aol.com
 http://members.aol.com/Rmasa/ROKHP.htm

地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

おいしい珈琲・紅茶とムシオサエの店

ベジ グリーンフィンガーズ

●12月は無農薬栽培のサトウキビから作ったラム酒を使用してクリスマスのお菓子、ミンスミートパイを焼いています。●1月からおいしい野菜をふんだんに使用した限定お昼ごはんセットを始めます。

営業時間 11:00-19:00
 定休日 水曜(祝祭日営業)

中央区瓦屋町1-6-2 惣1F
 TEL/FAX 06-6763-1983

当店ですべてのお食事、お菓子類に白砂糖、動物性食品、化学調味料は使用しておりません。

高齢者に身近な手続きや制度のご紹介③

備えあれば憂いなし

今回は、相続人側のお話です。親に万が一のことがあった時の話は本人には聞きづらいのですが、躊躇しているうちに亡くなってしまい、相続財産について全くわからず右往左往することがあります。財産だけ残してくれるとは限りません。他人の保証人になっていたり、消費者金融から簡単にお金を借りられる時代ですから、思いもよらない負債が残っていることもあります。

今回の登場人物は亡くなった父とその一人息子です。父の残した全財産は300万円の預金でしたが、夜逃げした知人の500万円の債務の連帯保証人になっていたらしく、その督促が息子のところに来しました。

息子の相続への対応として次の3つがあります。

①「単純承認」：父の死亡時の

一切の権利義務を受継ぐので、300万円を相続するとともに連帯保証債務も相続します。

②「相続放棄」：最初から相続人にならないということなので、財産も債務も全く受継ぎません。

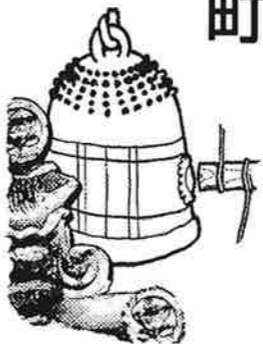
③「限定承認」：父が残した財産の限度で債務を返済すれば免責されるということです。つまり相続した財産の全てを相続債務の返済にあてれば、それを超える部分についての支払い義務はなくなります。今回の場合は、300万円全てを連帯保証債務の返済にあて、残額の200万円の支払い義務はなくなるというところです。

明らかに債務超過になっているときは「相続放棄」をすれば良いのですが、財産と債務のどちらが多いかわからない時は「限定承認」をすれば自分の財産の持ち出しがなくて済みます。

②と③の手続きは家庭裁判所が関与し、申し立て期限もあるので、相続で疑問点がある場合は、すぐに家庭裁判所に相談するのが良いでしょう。

司法書士 千場悦子

六ツの鐘が響く町



ここ谷町に住んで二十余年。越してきた翌朝、「ゴーン」と、重々しい鐘の音を聞いたような気がした。

外はまだ薄暗い。「ゴーン」

「ゴーン」

ベランダに出てみると透き通るような青い空。やがて二つ目、三つ目と鐘が響く。「明六ツの鐘だ!」

その日の夕刻、暮れかかる景色の中から、思った通り鐘の音。「やはり暮六ツの鐘」

「昔の人は、明六ツの鐘で仕事を始め、暮六ツで終える」と

何かの本で読んだ。

夏のある日、訪ねてきた友と話に夢中になっているところへ「ゴーン」

「もう帰って? まだこんなに明るいのに、冗談じゃないわ」と、笑いながら友が言う。

私は月に数回、仕事の都合で近鉄特急で名古屋に行く。

真冬の朝六時は、真つ暗でも寒い。明六ツの鐘どころではないはずだが、鐘の音が鳴り始めると、自然に体が動く。あ

何かの本で読んだ。

夏の余韻が、「頑張れよ」って聞こえるのが不思議。おかげで駅に着くころには、心も体も暖まっている。

帰りは名古屋を発つのが五時半近く。すっかり暗くなった車窓に目をやり、心の中で暮六ツの鐘を聞く自分に気づくことが度々。

こうして季節や心の変化とともに、谷町に響く鐘の音に耳をかたむける私です。

(にしお・みつこ)

快傑! からほり人

快傑ファイル其の十



鈴木廣一さん からほりで伝統を守り続けて半世紀以上

「背伏(せふせ)」とは、着物の背中にある生地と生地の合わせ目を保護するあて布のこと。着物の縫い目を隠すとともに、形を保持する役割がある。谷町六丁目に住む鈴木廣一さんは、そんな背伏を作る職人さんだ。からほりで伝統産業に従事する鈴木さんに、仕事や町のことについて聞いた。

着物離れが進む昨今だが、鈴木さんは半世紀以上も前から背伏作りに従事してこられた。幅約2メートルの本絹(ほんけん)のシートを、正確に幅32ミリのリボン状に裁断する。絹のシートを145枚重ね、その上に規定を当てて専用の包丁で裁断してゆく(仕事風景の写真参照)。重ねられたシートは、少しズレただけでも上下の幅が狂うし、皺やヨレがついてしまうと全てが台無しになるので、とても集中力のいる作業だ。「裁断中に電

話が鳴っても中断できへんから、無視することもしよっちゅうですわ(笑)。

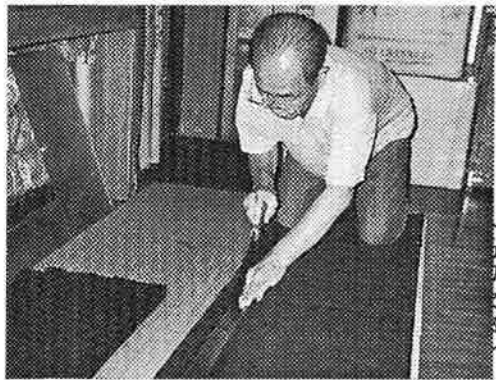
鈴木さんの背伏は「絵菱(えびし)」ブランドで親しまれ、最盛期には箱詰めの下請けを4軒ほど抱えていたそうだが、現在は問屋からの注文に応じて卸す程度。「でも、余生の楽しみにはこれで充分」。背伏作りは古き良き町からほりのイメージとぴったりだが、元々地場産業だったというわけではない。戦後の物品配給制度から絹織物が除外になり、鈴木さんの父がこの地で背伏作りを始めたのがその始まりだ。「17歳の時、親父が倒れて継ぎました。7人兄弟の長男だったからね、選択の余地はあらしませんでした」と、振り返り、快活に笑う。

鈴木さんは75歳と高齢だが、立ち居振る舞いも言葉も杜健そのもの。60歳過ぎから山登りを始めたそう、「ユースホステル協会」や「大阪歩こう会」主催の山歩き会などに夫婦で参加して、関西の主な山はほとんど踏破したらしい。しかしながら、背伏作りは膝や背中に無理な力をかけ続ける作業だ。その疲労の蓄積から3年ほど前に股関節を痛めて手術をした。「でも、リハビリの時に懸垂したら医者に驚いてました」と、言うほどお元氣。体を壊してからは、山歩きから遠ざかっているものの、「それでも毎朝40分くらいは散歩します」。

からほりで50年以上も日本の伝統を守り続けてきた鈴木さんだが、「古い街並みの価値や保存云々と騒がれても、ずうっと

住んでるからピンときませんわ。それに、長屋を作り替えても結局は偽モンでしょう」と、最近の賑わいについて言う。そして、こうも付け加える。「この町は静かで便利。でも、坂道が多くてちよつと大変。せやけど、散歩するには変化があつて楽しい。そういう意味でも年配者に優しい町とちゃうやろか」。

騒がれて注目されることよりも、当たり前前に毎日を通して、そこで日常の楽しみを見つけること。町に住み、馴染むとは、きっとそういうことなのだろう。鈴木さんにとってのからほりは、あくまでも生活の場であるように思われる。



か ら ほ り 界 隈 お 散 歩 M A P

~其の11「お正月の準備」の巻~



①正月と言えば「門松」。生花店では、今はクリスマスツリーを見かけました。



②正月と言えば「凧、こま、羽子板」。まっちゃんちも、今はクリスマス商品ですね。

本格的に寒くなる季節を迎えました。寒さは、暑さ以上に、散歩の大敵ですね。今回は、お正月を控えたこの季節ならではのお散歩情報をご紹介します。皆さんを散歩にお誘いします。

「からほり界隈で、お正月を感じるのとは、どこでしょうか？」という見方で歩いてみると、まず、最近増えている生花店が気になりました。皆さんは「門松」を飾られますか？正月と言えば門松、門松と言え、生花店と連想し、生花店を覗いてみると、今の時期は松ではなく、モミの木でしたね(①)。門松は神を迎え入れるために設置するものですが、最近はお手軽なものも出ています。界隈の生花店などいろいろとご覧になってはいかがでしょうか。お子さんには、「お正月には：：」と歌にも出てくる「凧、こま、羽子板」が喜ばれるのでは？これらは、松屋町筋沿いの「まっちゃんち」で見られます。ここでも、今は、クリスマス商品が並んでいます(②)。クリスマス商戦は11月初めぐらいには始まるのに、お正月商戦はクリスマス商戦の後からですから、とても短期間です。

はじめにお正月を感じるのとは、印刷屋さんではないでしょうか。

か。「年賀はがき印刷承ります」と、シンプルだけど、明快な朱色の旗やポスターが目につきます(③)。年末の買い出し時期にぎわうのは、和菓子屋さん(④)と総菜屋さん(⑤)でしょう。お餅とおせち料理はお正月の定番です。商店街内外には、趣の異なる和菓子屋さん(④)、総菜屋さん(⑤)がありますし、家庭で手作りされる方には、和食の味の決め手となる出汁(だし)づくり(⑥)に欠かせない乾物屋さんに加えて、昆布や鰯節の専門店(⑤)もあり、充実しています。

さて、私は「初風呂」が好きで、銭湯(⑥)にもお正月を感じます。年越しに欠かせないものと言え、年越しそばです。「細く長い人生を」という願担ぎや「一年の苦労を切って忘れよう」など、起源は諸説あるようですが、大阪らしくうどんを食べる場合にも、いわれがあるようです。

こうして挙げてみると、からほり界隈には、「和」というベシカ、「日本の伝統的風習」というと、やや大げさかもしれませんが、年末年始の楽しみが揃っています。ここではご紹介できなかった情報は、各店に聞いてみてはいかがでしょう。皆さんの日々のお散歩の中で確かめてください。

(山本一馬)



①正月の前には『年越しそば』。そば好きの私には、欠かせません。



⑥正月が来れば『初風呂?』。私だけのこだわりでしょうか?



⑤正月と言えば『おせち』。総菜屋さん、お出汁関係の専門店もあります。



④正月と言えば『お餅』。界隈には、趣の異なる和菓子屋さん(④)がいくつかあります。



③正月と言えば『年賀状』。空堀は、もともと印刷屋さんの多いまちです。